

変遷	S5 第Ⅰ期 《創建時》				時期不明	S34 第Ⅱ期 《古河家改造時》		H4 第Ⅲ期 《古河電工改造時①》		第Ⅳ期 《古河電工改造時②》					
年代	明治期				大正期				昭和期				平成期		令和
所有者	M29 (1896)	M33? (1900)	M37 (1904)	?	S5 (1930)				S22 (1947)		S31 (1956)				H30 (2018)
所有者	陸奥宗光	古河市兵衛	古河潤吉	古河虎之助					古河従純		古河電工				国
古図面・古写真															
改造内容	規模							<ul style="list-style-type: none"> <li>増築(1) 倉庫、渡廊下</li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li>増築(3) 倉庫東 物置2</li> <li>増築(4) 下男室北西 土間</li> <li>増築(5) 台所北 外部物入</li> <li>増築(6) 湯殿北 物置1</li> </ul>			
	間取等							<ul style="list-style-type: none"> <li>増築(2) 浴室、繋ぎ廊下、運転手溜り</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>改修(1) 予備室十帖、納戸八帖</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>改修(2) 物入</li> <li>改修(3) 茶之間六帖東 押入とその北側</li> <li>改修(4) 茶之間六帖西 流し</li> <li>改修(5) 便所2</li> <li>改修(6) 押入(旧運転手溜り)</li> </ul>			
	屋根							<ul style="list-style-type: none"> <li>木羽葺から瓦葺に仕様変更</li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li>瓦葺き替え</li> </ul>			
	その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>関東大震災により一部大破</li> <li>栃木県足尾町の柏木平へ移築</li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li>建て替え 昭和5年5月20日上棟 設計: 葛西田中建築事務所</li> </ul>									
資料分析					<ul style="list-style-type: none"> <li>【家屋改築届の屋根仕様】</li> <li>木羽葺き</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>昭和34年の古河図には、昭和6年の家屋改築図に記載のない倉庫、渡り廊下、浴室、繋ぎ廊下、運転手溜りが描かれる</li> <li>昭和36年の古河図には、渡廊下、倉庫、脱衣浴室ローカ、運転手溜りを増築した記載があるが、それぞれ同時期の増築かは不明</li> <li>航空写真より、倉庫、渡り廊下の増築は昭和21年以降、27年以前と判断される</li> <li>脱衣浴室ローカの増築面積は2.416(坪)と記載されており、浴室(約1.666坪)と繋ぎ廊下(約0.87坪)の合計2.536坪とほぼ一致する。よって、浴室も増築であると判断される</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>昭和34年1月に古河電工が、既存電気設備調査を実施しており、その調査図が改造後の図面になっている</li> </ul>						
現存建物との照合					<ul style="list-style-type: none"> <li>昭和6年の家屋改築図に記載された建物規模と当初柱が残る範囲が概ね一致する [資料7-4]</li> <li>小屋裏及び軒先に木羽葺材が残る [資料7-3]</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>増築部の柱は当初柱と仕様が異なる。また、繋ぎ廊下は、台所の土台を切断して建つことから、増築であることがわかる</li> <li>屋根や壁の納まりより、繋ぎ廊下は浴室が建った後に造られたと推定される</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>当初柱に確認された痕跡(床組、廻縁、柱当板)は、昭和34年古河図と合致する。施工が丁寧で、平成4年以降の改修とは明らかに手が異なる</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>現存する規模、間取り</li> <li>当初柱に確認された痕跡は、平成4年調査図と合致する</li> </ul>				
復原考察					<ul style="list-style-type: none"> <li>情報は「家屋改築図」のみであり、古写真はない</li> <li>現存しない木羽葺屋根の棟、軒付などの仕様不明</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>渡廊下を撤去した場合の復原仕様不明。古写真はない</li> <li>繋ぎ廊下を撤去した場合の、浴室の建具などは今後、詳細な痕跡調査が必要</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>間取り以外の仕様不明</li> <li>当初柱に設置された当板を外して修復することは困難</li> </ul>		<p><b>変遷表について</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>建物の姿、形に関する情報のみ抽出して整理</li> <li>変遷期の区分は、時期詳細が不明のものが多いため、大きなまとまりで設定している。</li> <li>改造はしているが改造時期が確定できていない内容はグレー</li> </ul>				